

自主防災組織の避難所運営マニュアル

基本モデル概要版

発行 日田市

基本方針▶P 6

市民のいのちを守り、希望を見出す拠点となるよう、次のような避難所を目指します。避難者相互による自主運営を基本とし、行政と協働の避難所運営を目指します。

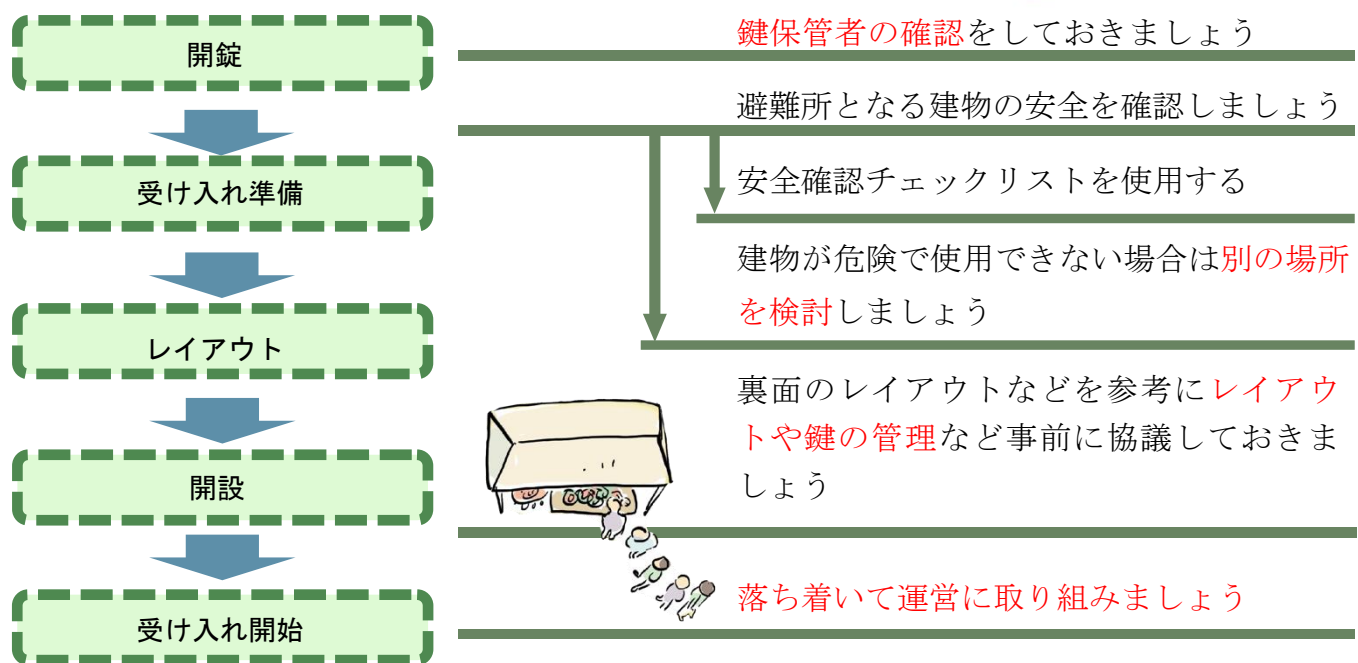
避難してきた**住民の支え合い**による避難所の開設・運営を目指します
要配慮者が避難しやすく、**女性の視線**を活かした避難所作りに取り組みます
地域の支援拠点としても役割を担う場所となる
要在宅避難者にも配慮した避難所づくりに取り組みます

避難所の種類▶P 8

避難所は以下の三種類に分類されます。



災害発生から開設まで▶P 1 2



避難所レイアウト作りに必要なスペース ▶P15

受付 	入り口付近など わかりやすい場所 に設置する	食事スペース 	衛生面に気をつけて憩いの場になるように 談話スペース なども併設する
居住スペース 	通路は車椅子が通れる 1.5m以上 とり衛生面に気をつける	救護スペース 	怪我をした方 や 体調が悪い方 の対応をするスペース
福祉避難スペース 	障がいがあるなど配慮が必要な方 に使用してもらうスペース	更衣室 授乳室 	女性や性同一性障害の方 にも配慮する
〇〇優先スペース 	自主防災組織の定める 対象者 が利用する優先スペース	ペットスペース 	避難者が連れてきたペットのスペース

運営に必要な役割担当 ▶P 25

総務班	避難者の管理や運営の事務局等
情報班	情報収集や情報の周知 掲示板の管理等
環境班	レイアウトの作成や避難所内共用部の管理等
救護班	避難者の健康状態の管理等
物資食糧班	物資の管理、炊き出しや食事の対応等
ボランティア班	派遣依頼や受入処理等

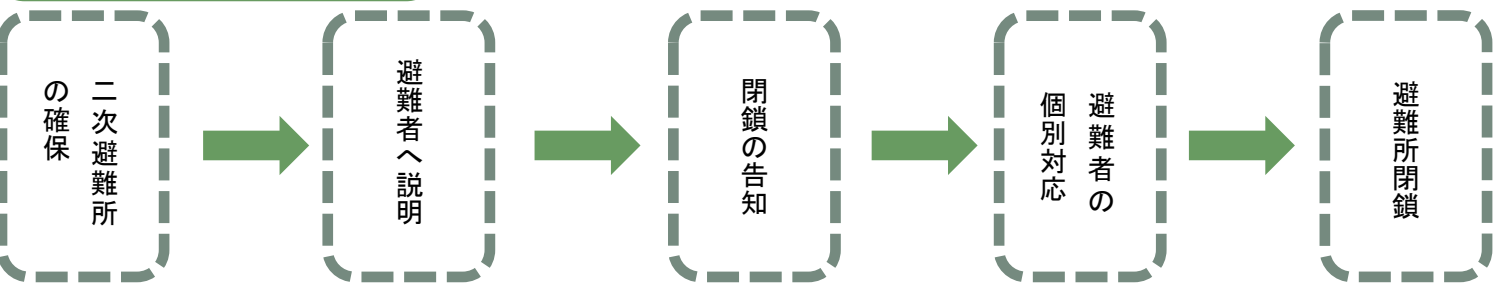


長期的な避難所生活における注意点 ▶P 28

長期化するほど、避難所が**家に近いイメージ**になるため、子どものための**学習スペース**や自炊ができる**調理スペース**などが必要になります。
避難生活は長期化すればするほど、ストレスをためず日常生活に戻ることが早期の復興や避難所解消に繋がります。**みんなで協力**して避難所生活を乗り切りましょう



避難所の閉鎖 ▶P 30



避難所レイアウト（案）@日田市複合文化施設 AOSE

※参考レイアウトなのでAOSEの実際の部屋割り等は状況に応じて変更になる場合があります

